

電波時計 取扱説明書 (デジタル掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 8RZ000

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2101)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかぬ山標準電波送信所」の2カ所にあります。

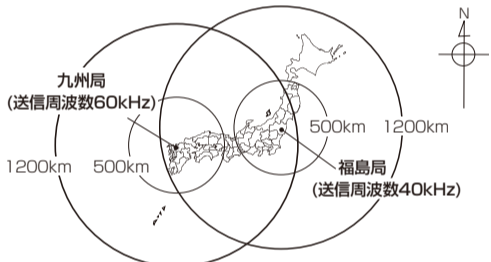
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jjy.nict.go.jp>)

※アドレスは変更になる場合があります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

時間精度	▶電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒 ▶電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～+50℃ 液晶表示可能温度範囲は0～40℃ *結露しないこと
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 4個
電池寿命	約3年
標準電波	標準電波受信による時刻修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	自動受信回数 8回/日 1時から4時、13時から16時各時間帯の16分40秒に受信開始
受信ON/OFF	あり
表示方式	LCD(液晶)
時刻表示形式	12時間/24時間制切り替え
カレンダー	西暦2010～2099年対応 六曜は2030年まで対応
温度表示	-9.9～+50℃ 温度精度±2℃
湿度表示	20～95% 湿度精度±10% (温度が5～50℃の範囲のとき)
防塵・防滴機能	なし

※液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。

※液晶は低温では表示が薄くなったり、反応が遅くなることがあります。また、高温では表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱しますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試し用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

お試し用電池 4個、木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4個、取扱説明書・保証書 本書

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る

- 傷をつけない。
- 分解しない。
- ショートさせない。
- 充電しない。
- 加熱しない。
- 火の中に入れない。

⊘ 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

⚠ 注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

⊘ 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

⊘ めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

⊘ 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

⊘ 液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

⊘ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

● 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

● 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⊘ 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

●付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

●買い置き電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池・製品の廃棄

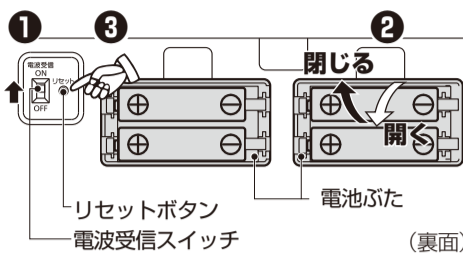
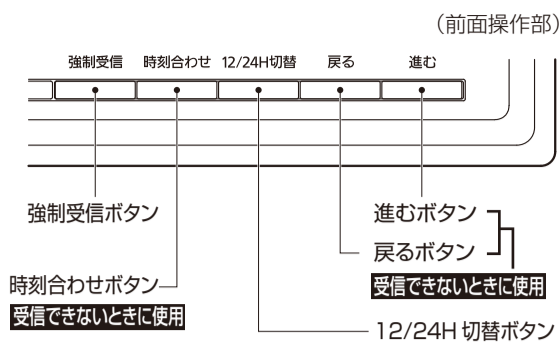
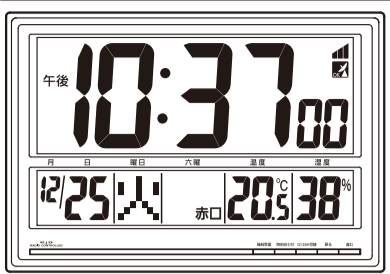
- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

1 電波を受信して時刻を合わせる

※図は操作説明用ですので実際のものとは異なることがあります。

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

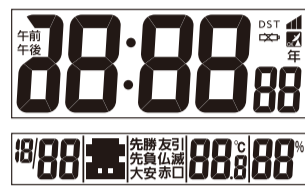


電池ふたを取り外し、単3形アルカリ乾電池（推奨）を4個入れてから電池ふたを取り付ける。
⊕⊖を間違えると、電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



受信マーク（受信中点滅）



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日、午前12:00に設定されます。

電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

- 1 電波受信スイッチをONにする
 - 2 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
 - 3 リセットボタンを細いボールペンなどで押すと受信マークが点滅し受信を開始します
 - 4 20分経過したら受信結果を確認する
受信に要する時間は、最長で約20分です。受信マークが点灯していたら受信成功です。【受信の流れと表示】参照
- 受信中はボタンやスイッチに触れないでください。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）

受信できない → 受信しやすい



チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

〈受信終了〉
最長20分後



受信に成功すると受信マークが点灯



受信マーク消灯失敗!

（受信に失敗したときの表示例）

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなったり、誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや、取扱説明書の日本地図を参考に送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

手動での時刻合わせ

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづけます。

(2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。

- 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
- 進むまたは戻るボタンを押しつづけると早送りまたは早戻しになります。
- 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

※電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると日付、時刻を修正します。

※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。

※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

●時刻は12/24時間の表示がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。

●電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用するときには、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。電波受信スイッチがONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

標準電波の送信停止について

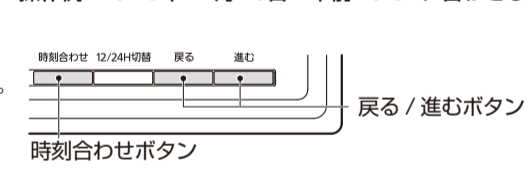
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

操作例。2018年12月25日 午前10:37に合わせる



① 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづける。

② 進む/戻るボタンで「年」を「2018」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。

③ 進む/戻るボタンで「月」を「12」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。

④ 進む/戻るボタンで「日」を「25」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。

⑤ 進む/戻るボタンで「時」を「10」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。

⑥ 進む/戻るボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。

⑦ 時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

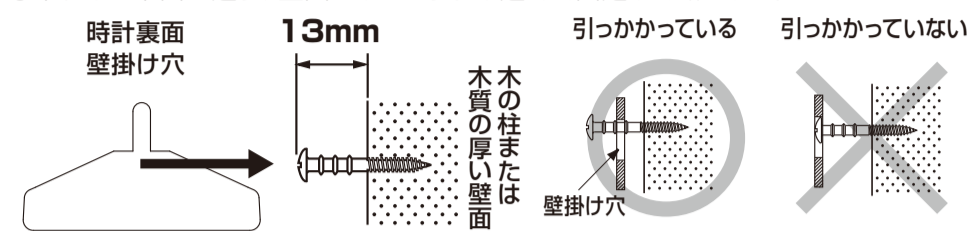
2 時計の設置

掛ける 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具（木ねじ）に確実に掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドア開閉時の振動などが伝わらないところに設置してください。

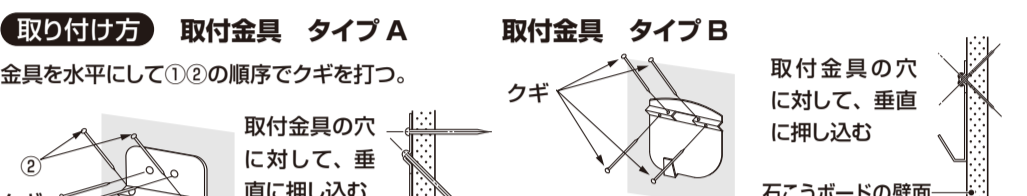
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



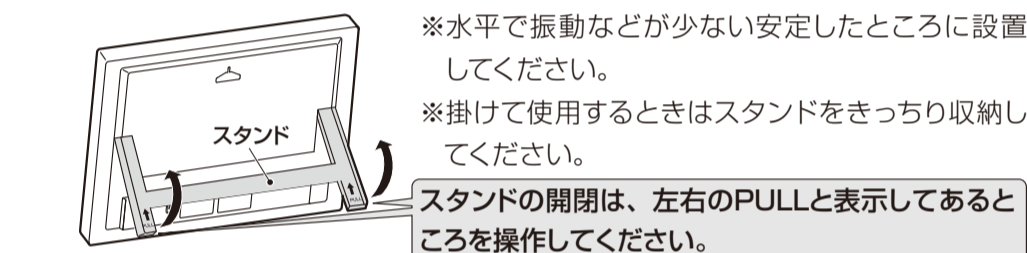
石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。



- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

置く 置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。



3 表示の切り替え



●電波の受信中および現在時刻の設定中は、表示を切り替えることはできません。

六曜について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。※六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。※六曜は、2030年以降は表示されません。

4 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。電池を交換したときは、必ずリセットボタンを押してください。

電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても3年に1回定期的に交換する。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池に表示されている使用推奨期限が3年以上先のものを使用する。例えば、2020年10月に交換するときは10-2023(月・年)より先の表示があるものを使用してください。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

温度と湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度「HH.H」50℃を超える高温 「LL.L」-9.9℃未満の低温
湿度「HH」95%を超える多湿 「LL」20%未満 「-」測定不能(温度が5~50℃の範囲外)
設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
屋外、温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
湿度は設置場所により変わります
湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。
⑧本製品は室内用です。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。
⑨測定した温度・湿度を証明または商取引に使用することはできません。

④ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)
電波受信スイッチをOFFにしてください。
○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

受信機能ON(有効にして受信を開始する)
電波受信スイッチをONにして、リセットボタンを押してください。受信を開始します。
○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

⑤ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン
場所を移動したときなど電波の受信を試みたときに使います。受信に失敗しても継続して時刻を表示します。
○手動で時刻合わせをしているときは機能しません。

リセットボタン
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2010年1月1日午前12:00に初期化されます。
電波受信スイッチがONのときは受信を開始します。